

## 健康で安全なライフスタイルの確立を目指す生徒の育成

- 保健学習・保健指導・「若あゆ」の時間を通して -

北茨城市立華川中学校

### 研究の概要

- 1 研究主題 健康で安全なライフスタイルの確立を目指す生徒の育成  
- 保健学習・保健指導・「若あゆ」の時間を通して -
- 2 主題設定の理由
  - (1) 本校の教育目標から  
本校では、かしこく＝「努力」すること、たくましく＝「健康」であること、あたたかく＝「修養」することと捉え、その具現化のために日々取り組んでいる。  
特に本校教育目標の具現化のためには、自分の健康や安全に関心を持ち、自ら考え、判断し、主体的に問題を解決する力と、それらをどのように身につけたらよいかを考え、実践することができる生徒を育成したいと考える。
  - (2) 生徒の実態から  
本校は、山間の小規模校で生徒は、素直で明るく、のびのびと生活している。また、挨拶も良くでき、朝食の欠食生徒も少なく食後の歯磨きが習慣化されているなど、基本的な生活習慣は、ほぼ身に付いている。しかし、アンケートの結果から、喫煙や飲酒に対する考え方に甘さがあり、自分自身の健康についての意識が低いことが分かった。このような点からも、健康で安全なライフスタイルの確立を目指す生徒を育成したいと考える。
  - (3) 今日の課題から  
今までの健康教育では、知識が行動の中核であるという考え方が主流であり、知識を理解させることに重点が置かれた。現在の考え方は、生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、健康におよぼす環境を改善していく資質や能力の基礎を培い、心身の健康を保持増進するための実践力を育成することが、大切であるとされている。  
平成13年度茨城県学校保健・学校安全研究大会でも健康づくりには、「健康課題への変化」一人一人の生活習慣、つまりライフスタイルが健康に大きく影響することや「若者の健康課題の深刻化」薬物乱用、性の逸脱行為、生活習慣病などが増えていること、「健康観の広がり」総合的かつ主体的に健康を捉えていくこと、「ヘルスプロモーション」健康を支援する政策、教育、医療サービスといった様々な環境をよりよいものに変えていくこと、「高度情報化時代」自ら情報源にアクセスするとともに、自ら情報を取捨選択していく能力の必要性をあげられている。  
以上のような視点から本校の研究主題を設定し、保健学習、保健指導、総合的な学習の時間（「若あゆ」の時間）などの教育活動全般を通して研究を進めることにした。
- 3 研究のねらい（目指す生徒像）
  - (1) 健康や安全に関心を持てる生徒  
生徒の環境や身近な事から健康に関する問題について、自分のこととして捉える事ができる生徒を育成する。
  - (2) 健康や安全についての正しい知識を身に付け適切な行動がとれる生徒  
生徒が発達段階に応じて健康や安全について、保健学習・保健指導・総合的な学習の時間「若あゆ」の時間で正しい知識を身に付けることにより、自分の健康や安全について正しい知識をもとに、より適切な行動を取ることができる生徒を育成する。
  - (3) 将来にわたって、健康で安全な生活ができる生徒  
生徒や生徒の家族が、健康や安全についての正しい知識を身に付け、日々の生活に生きる実践力を育成する。
- 4 研究の仮説
  - (1) 仮説1  
保健・安全についての学習を通して、課題を調べたり解決したりして、達成感や成就感を味わうことができれば、将来にわたって健康で安全な生活習慣や考え方を身に付けることができるであろう。
  - (2) 仮説2  
生徒一人一人が、「つかむ」「調べる」「まとめる」「発表する」「環境を変える」の基本的なプロセスで、学習活動や「若あゆ」の時間に、興味関心を持って、主体的に取り組めば、将来にわたって健康で安全な生活習慣や考え方を身に付けることができるであろう。

## 5 研究の方法

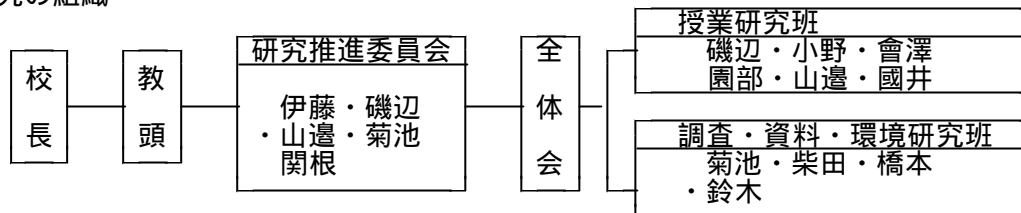
### (1) 研究の進め方

研究の方向性を示し、研究を計画的に行うために、研究推進委員会及び各研究班を中核に置き研究を進める。

授業研究班では、主に指導計画の作成、授業における学習過程や学習形態の工夫・改善等に関することを、調査・資料・環境班では、生徒の実態や環境の整備等に関するこの研究を進める。

全体会では、研究推進委員会及び各研究班の提案を協議し、共通理解を図って研究を進める。保健学習、学級活動（保健指導）、「若あゆ」の時間（総合的な学習の時間）では、保健安全に関する問題解決的な学習の研究を進める。

### (2) 研究の組織



## 6 研究の経過

3年次（平成14年度）

月	活動内容	月	活動内容
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回全体会（4日）</li> <li>昨年度までの経過説明と今年度の見通しについて</li> <li>第1回推進委員会（15日）</li> <li>第2回全体会（30日）</li> <li>第1回部員会（30日）</li> <li>本年度の研究の進め方</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回県推進校訪問指導（1日）</li> <li>保健学習、保健指導に取り組む</li> <li>第6回推進委員会</li> <li>第11回全体会</li> <li>「若あゆ」の時間の最終打ち合わせと発表会について</li> <li>第7回推進委員会</li> <li>第8回部員会</li> <li>第12回全体会</li> <li>若あゆ博についての最終確認性に関する講演会</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回部員会（8日）</li> <li>第3回部員会（20日）</li> <li>「若あゆ」の時間の進め方</li> <li>第3回全体会（30日）</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回県推進校訪問指導</li> <li>学校保健・学校安全公開授業（1日）</li> <li>若あゆ博（第3学年）</li> <li>保健学習（2年）</li> <li>保健指導（1年）に取り組む</li> <li>第13回全体会（1日）</li> <li>第8回推進委員会</li> <li>若あゆ博（第2学年）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回部員会（10日）</li> <li>第2回推進委員会（11日）</li> <li>指導案検討会</li> <li>第5回部員会（13日）</li> <li>第1回県推進校訪問指導（25日）</li> <li>第4回全体会（28日）</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>若あゆ博（第1学年）</li> <li>第9回推進委員会</li> <li>第14回全体会</li> <li>若あゆ博及び2学期の反省について</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回推進委員会（1日）</li> <li>生徒の実態把握アンケート実施</li> <li>第5回全体会（9日）</li> <li>「若あゆ」の学習の実施状況報告会</li> <li>第6回全体会（19日）</li> <li>第6回部員会（23日）</li> <li>第7回全体会（24日）</li> <li>今後の見通しと各部員会の打ち合わせ</li> <li>1学期の反省</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9回部員会</li> <li>「若あゆ」の時間の反省の考察について</li> <li>第10回推進委員会</li> <li>第15回全体会</li> <li>来年度の見通しについて</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8回全体会（21日）</li> <li>第7回部員会（21日）</li> <li>2学期の計画と発表会までの日程及び仕事の確認</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第10回部員会</li> <li>本年度のまとめについて</li> <li>第2回学校保健委員会</li> <li>第16回全体会</li> <li>今後の構想について</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回推進委員会（2日）</li> <li>第5回推進委員会（5日）</li> <li>指導案検討・発表会資料検討</li> <li>第9回全体会（10日）</li> <li>研究推進校要請訪問（11日）</li> <li>保健集会（19日）</li> <li>薬物乱用防止集会（県警フレンド号）</li> <li>第1回学校保健委員会（19日）</li> <li>第10回全体会（25日）</li> </ul>		

# 研究の実践

## 1 授業研究部の実践

### (1) 年間指導計画の検討について

1年次の反省を受け、学級活動年間指導計画を実施時期と発達段階を考慮し、作成をした。「若あゆ」の時間の学習指導計画は、各領域や教科の年間指導計画との関連を図り、保健や安全について学習に取り入れられるように作成した。

### (2) 指導案

#### 学級活動指導案について

生徒一人一人が「適切な行動と実践力」を身に付けるために、学習の基本プロセスを、「つかむ」「調べる」「まとめる」「発表する」「環境を変える」の5段階としてとらえ、教師が適切な課題を提示することで、学習効果を高めることを目指した。

平成13年度においても同様にすすめ、平成14年1月の研究推進校訪問時には、以下のように変更した。

(平成14年1月版 A4縦型)  
第 学年 組 学級活動指導案

指導者

#### 1 題材

#### 2 主題設定の理由

#### 3 指導のねらい

#### 4 研究主題との関連

#### 5 学習計画

週	学習計画	月日	学習活動と支援・援助	活動の場
事前				
本時				
事後				

#### 6 本時の学習

##### (1) 本時の活動テーマ

##### (2) 本時のねらい

##### (3) 準備・資料

##### (4) 展開

流れ	時間	学習活動・内容	支援の手だて( )と評価(＊)
環境をかえる		学習課題	~指示する。 ~説明する。 ~ほめる。 ＊～することができたか。 観察 / 発表

保健体育科学習指導案について  
 保健体育科では、特に、保健学習において、指導案形式を変えてきたが、最終的に下記のようになった。

(平成14年1月版 A4縦型)  
 第 学年 保健体育科(保健分野)学習指導案

指導者

- 1 単元名
- 2 目標
- 3 単元について
  - (1) 単元のねらい
  - (2) 生徒の実態
  - (3) 指導観
- 4 研究主題との関連
- 5 学習計画

学習計画	主な学習内容と方法	関・意・態	思・判	知・理
第1次				
第2次				
第1時 第2時 第3時	課題をつかむ・調べる " 環境を変える			

- 6 本時の学習
  - (1) 目標
  - (2) 本時で押さえない基礎・基本
  - (3) 準備・資料
  - (4) 展開

	つがい	学習活動・内容	支援の手だて( )と評価の視点( * )
環境をかえる			

(3) 授業の改善と工夫  
 学級活動の一般的なプロセスは、発見して 工夫して 解決するというパターンであるが、本校では、つかむ 調べる まとめる 発表する 環境を変えるという学習プロセスで授業を進めてきた。本校では、この「環境を変える」に重点を置き、主題にせまるための授業を展開してきた。また、題材を1単位時間としてとらえるだけでなく、単元扱いでとらえてみた。しかも、従来の授業形態だけでなく、多様な授業を展開した。以下は、実践した内容である。

- TT授業による学級活動(担任・学年主任・養護教諭)
  - ・題材名 傷害の防止と病気の予防(平成12年5月実施)
- TT授業及び2時間扱いによる学級活動(担任・養護教諭)
  - ・題材名 私の食事について(平成12年9月実施)
- 複数時間扱いによる学級活動
  - ・題材名 性交と避妊(平成12年9月実施)
- ブレインストーミング法を用いた、2時間扱いによる学級活動
  - ・題材名 たばこと健康(平成12年11月実施)
- GT授業及び複数時間扱いによる学級活動(担任・養護教諭・栄養士)
  - ・題材名 私の食事について(平成13年6月実施)
- 単元扱いによる保健学習
  - ・単元名 心身の機能の発達と心の健康(第1領域 からだの発達)  
(平成13年2月実施)
- ロールプレイング法を用いた、スキル学習による学級活動
  - ・題材名 NOと言える自分  
"死への近道"アルコールとイッキ飲み(平成13年6月実施)

- ・ 題材名 もし友達からたばこを吸うよう勧められたら (平成 14年 1月実施)



煙草，飲酒，薬物乱用防止の授業での教師とのロールプレイングの様子

- ブレインストーミング法を用いた，スキル学習による学級活動
- ・ 題材名 ストレス対処  
「この気持ち，どうしたらいいの？」 (平成 13年 10月実施)
- 演習を中心とした学級活動
- ・ 題材名 R I C E 処置について (平成 1 3 年 1 1 月実施)



応急手当 (RICE処置) の授業の実習の様子

- ロールプレイング法を用い，T T 授業及びスキル学習による学級活動 (担任・養護教諭)
- ・ 題材名 もし友達からたばこを吸うよう勧められたら (平成 14年 1月実施)
- パピリオン方式で行った発表を中心とした保健学習
- ・ 単元名 健康と環境 (平成 1 4 年 1 月実施)
- ブレインストーミング法を用いた，T T による保健学習
- ・ 単元名 健康な生活と疾病の予防 (平成 1 4 年 1 月実施)
- G T 授業，演習を中心とした学級活動 (学校歯科医・担任)
- ・ 題材名 歯みがき教室 (平成 1 4 年 6 月実施)
- ブレインストーミング法を用いた，学級活動
- ・ 題材名 心の健康 (平成 1 4 年 6 月実施)
- ロールプレイング法を用い，T T 授業及びスキル学習による学級活動 (担任・養護教諭)
- ・ 題材名 もしお酒を勧められたら (平成 1 4 年 1 0 月実施)
- ブレインストーミング法を用いた，G T による保健学習
- ・ 単元名 健康な生活と疾病の予防 (平成 1 4 年 1 0 月実施)

(4) 「若あゆ」の時間

名前の由来

総合的な学習の時間の名称を，本校の歴史ある応援歌の歌詞から命名し，「若あゆ」の時間とした。  
(平成 1 3 年 7 月)

本校の特色

ア 異学年集団

全校生徒でガイダンスを行い，「130歳まで長生きするためには」という大きなテーマのもと，個人の課題作りに取り組んだ。個々の課題は，下記のようなグループに分類され同じような学習課題を考えた生徒同士を小集団とし，異学年のグループを結成した。

Aグループ：健康，環境に関すること

Bグループ：疾病 (病気・けが) に関すること

Ｃグループ：安全に関すること

イ GTの活用

校医や救急救命士、警察の方々等多くのGT（ゲストティーチャー）を招き、体験的・問題解決的な学習を進めてきた。また、校外学習や保健集会でも学校歯科医や薬剤師、地域の各施設等からの協力をいただいた。

ウ 若あゆ博

発表の能力を身に付けさせるために、パビリオン方式で若あゆ博を開き、グループ発表資料と個々の発表資料を作成し、参観者（生徒、保護者など）の前で発表する機会を設けている。発表の資料は、掲示資料、パソコンによるプレゼンテーション、紙芝居、VTR、寸劇など多彩な形式が見られた。平成13年度は、10月24日に2学年が、11月8日に3年生、12月5日に1年生が若あゆ博を行った。平成14年度も、同じように計画している。

エ 評価の工夫

「若あゆ」の時間を進める上で、生徒の活動内容と自己評価について日々観察できるように、ポートフォリオ評価を取り入れ、次のカードを作成した。

活動記録振り返りカード（毎時間の蓄積として）  
一日の振り返りカード（一日ごとの蓄積として）  
自己評価支援カード（上記2）の感想・反省を自由に記述できるように）

## 2 調査・資料・環境研究班の取り組み

(1) 保健安全計画作成

平成13年度・14年度保健安全計画の作成

- ・ 生徒の生活行動目標の検討
- ・ 学校行事等（健康安全・体育的な行事）との関連の見通し
- ・ 保健安全教育、保健安全管理、組織活動の見直し

(2) 環境整備

教室環境

保健安全コーナーの設置

掲示内容としては、安全面で緊急避難名簿、避難経路図などを掲示し、保健面では、今月の目標、保健だより、健康標語などを分かりやすく掲示することにより意識付けを図った。

### 【安全面】

緊急避難名簿	緊急時の持ち出し、確認
避難経路図	第1、第2避難経路
避難訓練自己反省カード	訓練時の反省

### 【保健面】

今月の目標	保健安全計画に基づき
保健ニュース	うがい、手洗いの励行
健康標語	諸病気に対策、特集
保健だより	生徒より募集、決定 月刊（保健行事、諸連絡）

校舎内環境

ア 2階踊り場掲示板

2階踊り場の掲示板は、保健・安全コーナーとして活用し下記のような内容の掲示物を掲示した。

- ・ 保健安全についての連絡
- ・ 交通安全関係
- ・ 効果的な歯磨きの仕方
- ・ 保健ポスター（薬物関係）等

イ 3年2組前廊下掲示板

3年2組前の廊下には、「若あゆ」の時間についての学習の足跡が分かるような掲示とし、生徒がいつでもふり返ることができる環境に務めた。

- ・ 分野別グループ
- ・ 研究のあしあと（生徒活動の様子を含）
- ・ 事業所訪問計画（マナーガイド）等
- ・ 連絡 など



ア 2階踊り場掲示板の様子



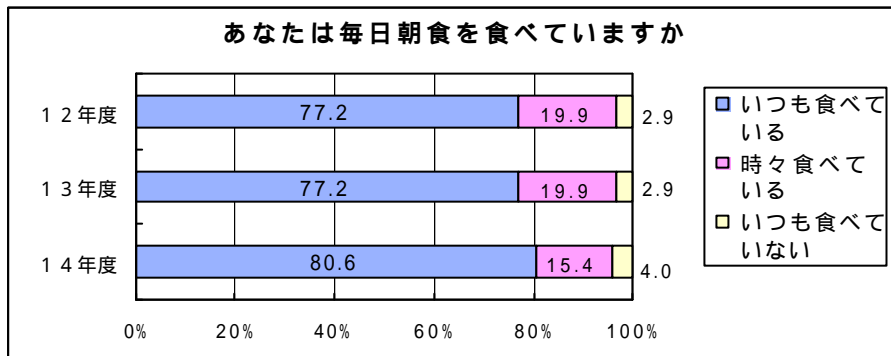
イ 3年2組前の廊下  
「若あゆ」の時間の足跡の様子

ウ 個人の目標（学級掲示用）

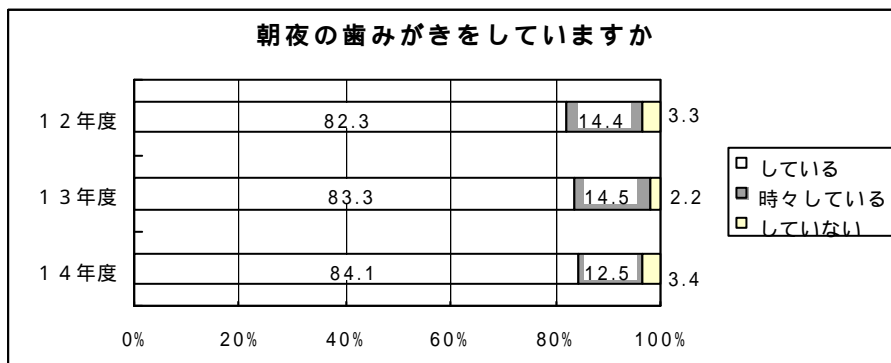
各クラスで掲示している個人個人の目標に、保健・安全の目標も掲示。各学級それぞれに工夫のある掲示物となっている。

(3) 生徒の実態の把握

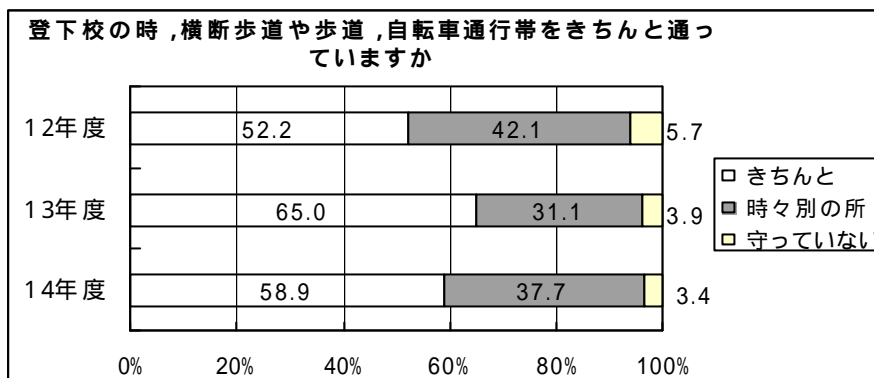
1年次（平成12年度）から3年間、生徒の実態アンケートを実施し、各学年での重点学習内容や「若あゆ」の時間でのテーマの設定や生徒の変容の分析を行った。  
アンケート調査の結果から



朝食を毎日食べている生徒が増加している。80.6%の生徒が「毎日食べている」と回答しており、食に関する指導の効果が少しずつ現れている。一方、「いつも食べていない」と回答した生徒が4.0%いる。個別指導や家庭への啓発をさらにしていく必要がある。



年々、朝夜の歯みがきを実施している生徒の割合が高まっている。歯に関する指導や昼の歯みがきの習慣化等がよい効果を上げていると考えられる。「時々している」を含めると95%以上の生徒が、朝夜の歯みがきを意識して取り組んでいることが分かる。一方、数パーセントであるが全く夜の歯みがきの習慣がない生徒がいる。むし歯の予防と歯みがきの関係等について個別指導していくことが今後の課題である。



平成14年度は13年度と比較すると、「きちんと通っている」と回答した割合が58.9%とやや減少したが、守っていないと回答した生徒の割合が年々減少しており、全体として交通安全を意識し、行動していると考えられる。

通学路調査（自転車通学者、地区別通学者、通学路の危険箇所 など）

(4) 行事・集会の活性化

避難訓練

1学期：地震火災想定， 2学期：不審者想定， 3学期：火災想定，消火体験



平成13年度 3学期消火体験



平成14年度 1学期地震（起震車体験）

自転車安全点検（北茨城市自転車協会との提携）

保健集会の実施

保健集会は、全校生徒を対象に保健・給食委員会の生徒が中心になり、食物と飲料水に含まれる糖分について、歯の大切さや薬物防止について分かりやすく発表を行う。ゲストティーチャーとして、学校歯科医や県警の婦警さんやフレンド号などの活用も見られた。



平成13年度 歯の集会



平成14年度 薬物乱用防止集会

教育講演会  
 全校生徒及び保護者や地域の人たち、北茨城市内の先生方とともに教育講演会を実施し、貴重なお話を聞くことができた。

- 1年次（平成12年）「薬物の恐ろしさについて」  
 講師 県立友部病院 中村 恵先生  
 2年次（平成13年）「思春期と性」  
 講師 村瀬幸広先生  
 3年次（平成14年）「中学生の心とからだ～より幸せになるために」安達優雅子先生



(5) 地域との連携

学校保健委員会での啓発

対象：学校三師，保護者（PTA役員・専門委員長），  
 学校職員（10名），

- ・健康診断の結果
- ・生活についてのアンケート調査，体力テストの結果
- ・保健室の利用状況（主訴別状況，欠席状況） など

PTA生活委員との連携

- ・地域パトロール（長期休業中）
- ・学区内危険箇所の点検（横断歩道，防犯灯などの設置要望）
- ・車地区の横断歩道設置（交通危険箇所）
- ・地区との協力で防犯灯の設置（要望）

3 実践事例

(1) 実践事例1（保健学習）

題材 もしお酒を勧められたら

本時の学習

本時のねらい

前時に学習した内容を確認し，飲酒の害についての認識を高める。（関心・意欲・態度）

ワークシートに基づいた断り方を考えることができる。（思考・判断）

ロールプレイングで飲酒の勧めに対して断ることができる。（技能・表現）

展開

流れ	時間	学習活動・内容	支援の手だて( )と評価(*)
つかむ	5分	1 本時の学習内容を知る。 もしお酒を飲むように勧められたら	前時の学習を振り返り飲酒の害について確認する。(T1) ・資料の提示(写真など)  自由に発表させるようにし，積極的に活動させるための雰囲気をつくる。
		2 お酒を飲み始めるきっかけはどのような場面か考え，話し合う。 ・いつ ・どこで ・だれに	事前に身近な人の飲酒のきっかけを調べるように指示しておく。(T1)  * 自分の周りにはたくさんの飲酒の機会や誘惑があることに気づくことができたか。(観察・発表) ・お正月 ・カラオケボックス ・クリスマス ・誕生会 ・お祭り など
深める	35分	3 グループごとに実際にお酒を勧められたらどんな行動をとるか考える。 ・友達から勧められた場合のグループ ・先輩から勧められた場合のグループ ・親類から勧められた場合のグループ	机間指導で進行状況を把握し援助する。(T1)  ロールプレイングの流れや約束については事前に確認しておく。(T1) 断り方を考えつかない生徒や，断り方に偏りがある班には，断り方のヒントカードを配布する。(T1, T2)
		(1)自分なりの断り方を考え，ワークシートに記入する。  (2)録音テープや先生を相手にロールプレイングを行う。	教師はどのグループともロールプレイングができるようにする。(T1, T2) 活動に参加できないと思われる子には友達のロールプレイングをみて，効果的な断り方を見つけるように援助する。  強い意志を持った断り方や弱気ながらも確実に断る方法など生徒の特性を生かした断り方も認めたい。
環境を変え			

る	(3)お互いの発表について感想を 発表する。	* ロールプレイングに参加し、積極的に断ることができるようになったか。 (ワークシート, 観察, 発表)
10 分	4 代表のロールプレイングを見て、自分との違いを考え、本時のまとめをする。	グループ内で、人間関係を損なわない上手な断り方をした人を選ぶよう支援する。 (T1, T2) 自分にも活用できる断り方は何かを考えながら代表の発表を見るよう指示する。 (T1) * 代表のロールプレイングを見て、自分のものと比べ、違いに気づくことができ、まとめることができたか。 (ワークシート, 観察, 発表)

#### 考察

#### ア 成果

ビデオや資料から、飲酒が体に及ぼす悪影響について理解を深め、自分の命を落とすこと、更に家族や友達まで不幸にしてしまうことなどを、自分のものとして、とらえることができた。また、ロールプレイングでのお酒の勧められた時の断り方の学習では、全員が自分なりの断り方を体験できた。また、自分の意志をしっかり相手に伝えることの難しさを体験することができた。



教師を相手にロールプレイングをする様子

教師がお酒を勧める役で、生徒とロールプレイングをしている様子。少し強引に進められて困っている様子が伺えた。

カセットテープを相手に  
ロールプレイングをする様子

自分たちで考えたシナリオ通りに断り方ができるか、カセットテープで実演しています。



#### イ 今後の課題

ロールプレイングの時間の十分な確保を考え、導入部分にあまり時間をかけずに進めたため、断るときお酒の害について、理由にあげている生徒が少なかった。また、ロールプレイングの経験が少なく、恥ずかしさもあってか役割演技が、うまくできずに、ただ文を読んでいるだけになってしまった生徒もいた。

授業では、シナリオをしっかり作らせる時間の確保や、身振り手振りを入れて、その役に成りきることへの援助が必要であると考えます。

#### ウ 講師指導

(ア) シナリオ作成の時間とロールプレイングの時間をそれぞれ1時間扱いとし、合計2時間扱いにすると有効に学習ができる。

(イ) 役割演技をスムーズに行うためには、名札などで分担をわかりやすくすると良い。

(ウ) ロールプレイングの始めと終わりの合図を明確にすると良い。

(エ) 受け答えを3種類準備すると良い。(攻撃的, 受動的, 自己主張的)

(オ) 教師が、実際にロールプレイングのやり方を実演してみせると、分かりやすい。

## 研究の成果と今後の課題

### 1 研究の成果

#### (1) 仮説1について

課題解決学習を通して、保健・安全に関する課題に取り組むことにより、食事に気を遣ったり、けがの予防やRICE処置の方法や応急処置法などが分かったりと、自分の健康や安全に気を付けて生活ができるようになってきた。

ライフスキル学習のブレインストーミングやロールプレイングの授業を通して、問題に対処する具体的な方法が分かり、自信がもてるようになってきた。

生徒自らが、自分の健康に気がつかって生活ができるようになってきた。

#### (2) 仮説2について

基本的なプロセスで学習に取り組むことにより、自分や自分の周りの人々の環境について関心を持ち、健康で安全な生活習慣を身に付けようとする姿が見られた。

「若あゆ」の時間では、調べ学習の具体的な方法が分かり、全体の場で誰もが発表体験をすることにより、どの生徒も自信を持てるようになった。

教師も生徒のよい変容を多く目にすることで、より研究の深化を図ることができた。

「若あゆ」の時間の取り組みにより、生徒はもとより教師も健康や安全についてより考えるようになった。

学校三師の方々や救急救命士、学校栄養職員などのGTの協力で、より分かりやすく専門的な話を聞くことができたり、具体的な体験ができたりと意欲的な授業ができた。

若あゆ博を見学し、家庭や地域などで健康や安全に対する話題で、自分のライフスタイルを見直そうとする広がりも見られた。

### 2 今後の課題

ライフスキル学習の効果を高めるための授業のあり方について、さらに研究を深める必要がある。

学級活動では、複数時間取り扱いで計画を立てたが、週1回の学級活動では、話し合い活動や、進路指導、他の行事等とのかかわりもあり、年間を見通した計画が必要となる。

「若あゆ」の時間の授業の効果を上げるために、評価面での研修を深める必要がある。

GTでの授業の効果を上げるため、地域人材を発掘し、人材バンクの充実を図る。